2．記録と報告

（1）「龍谷の森」植生図の作成

宮浦富保・横田岳人

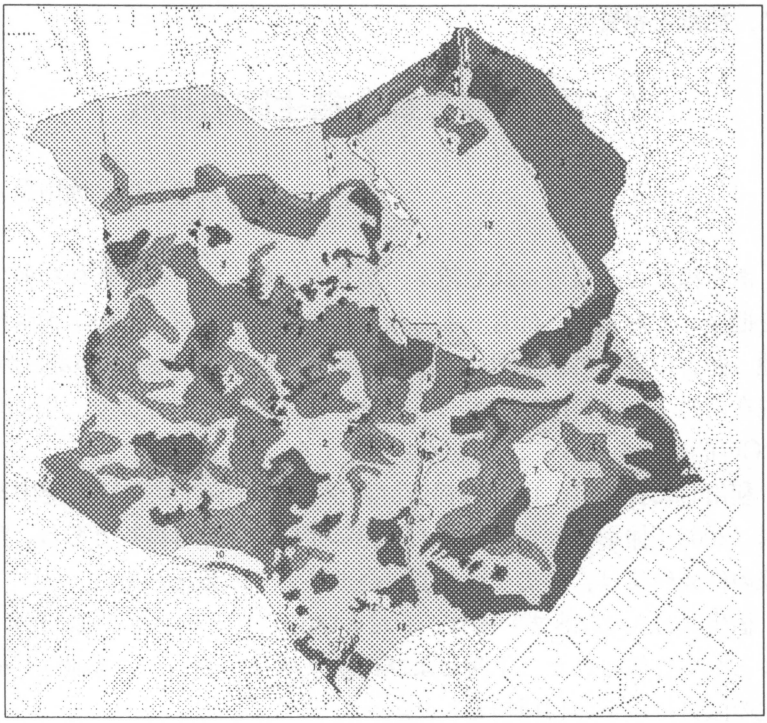
ある程度の面積の森林で種々の調査を行う上で、その森林の植生を把握しておくことはもっとも基本的な事柄である。瀬田学舎隣接地（龍谷の森）の植生図は、10年ほど前に作成されたものがあるが、現在の植生との対応は必ずしも十分とは言い難い。そこで、里山ORCの開始にあたって、植生図を整備することにした。

利用した資料は、1/2500都市計画図と国土地理院発行の空中写真（2000年撮影のカラー写真と2003年撮影の白黒写真）である。実際の作成作業は、株式会社環境総合テクノスに委託した。

植生図はArcGISフォーマットおよびJPGフォーマットのファイルとして作成された（下図および口絵カラー写真 p.⑮参照）。植生の区分は以下の12種類とした。

1．アカマツ群落　2．アカマツ－ソヨゴ群落　3．コナラ群落
4．アカマツ低木　5．ヤシャブシ群落　6．ヒノキ群落
7．竹林　8．路傍空地群落　9．開放水域
10．造成地・裸地　11．水田・耕作地　12．市街地・大学

この植生図に基づいて、保全計画や調査計画を立案する予定である。また、隣接地（龍谷の森）での動植物等の調査結果を随時この植生図に反映させていく予定である。



「龍谷の森」における相観植生図